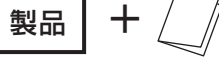
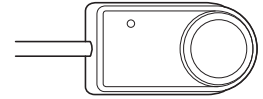
取扱説明書

この度は PIVOT 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解のうえで装着・使用してください。
なお、本書は大切に保管してください。

●製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

ISC IDLING STOP CANCELLER

CR-Z（MT車）専用品

目 次

セット内容・警告・注意 ………… 1
機能・特長 ………………………… 2
各部の名称 ………………………… 2
配線接続方法 ………………… 2〜3
製品の固定 ………………………… 3
操作方法 …………………………… 4
故障かな？と思ったら …………… 4

内容物をご確認ください

コントローラー
[41×22×9（D）mm]

ユニット
[51×35×20（D）mm]

5P電源コード

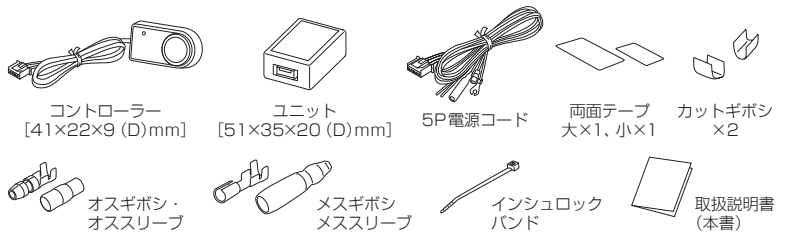
両面テープ
大×1、小×1

カットギボシ
×2

オスギボシ・
オススリーブ

メスギボシ
メススリーブ

インシュロック
バンド

取扱説明書
（本書）

下記の車輌は、対応車であっても製品動作などに支障をきたす恐れがあるため、装着できません。
●純正部品以外のECUの場合　●サブコンなどをご使用の場合

⚠警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

●換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火などにより、人体への危険があります。

●製品は安全な場所へ確実に固定する
使用中に製品が外れてブレーキなどに挟まると運転操作に支障をきたし、大変危険です。

●コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良などによる火災や、通信不具合による電装部品・エンジン・車輌破損の危険があります。

●運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となります。安全に十分配慮してご使用ください。

●配線はテープなどで収納する
配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠注意

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

●装着直後は製品に強い力を加えない
装着初期、両面テープでの製品固定は、はげやすくなっていますのでご注意ください。

●薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。

●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。

●ネジ・部品は元の状態に戻す

●まぶしく感じる場所には装着しない

●加工・分解および改造をしない

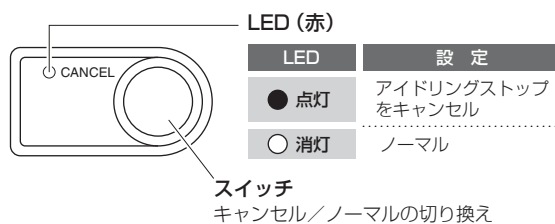
●エレクトロタップは使用しない

機能・特長

ISC は、CR-Z のアイドリングストップを他車（ヴィッツ、マーチ、ワゴンR、アクセラなど）と同じようにキャンセルとノーマルに切り換え可能なコントローラーです。

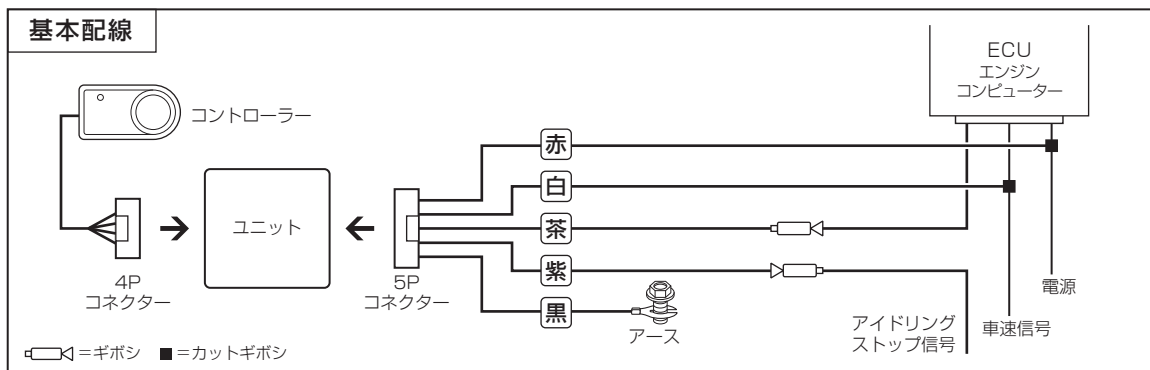
モタツキ発進	再始動によるモタツキ発進の防止
エアコン能力	コンプレッサー停止による除湿と冷却不足の防止
始動時の不快感	始動時の不快な振動防止
エラーにならない制御方式	「IMA システム異常」などのエラーにならない、独自の制御方式を採用

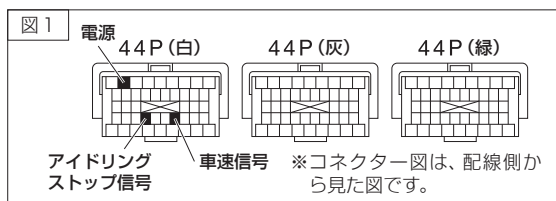
各部の名称

LED	設 定
● 点灯	アイドリングストップをキャンセル
○ 消灯	ノーマル

LEDの消灯について

※本製品はクルマの ECU 電源に連動しています。そのため、エンジン停止からLEDが消えるまで５分程度かかりますが、正常な動作です。（アイドリングストップ機能をキャンセルに設定しているとき）

配線接続方法 以下の❶～❹の手順で配線を行ってください。

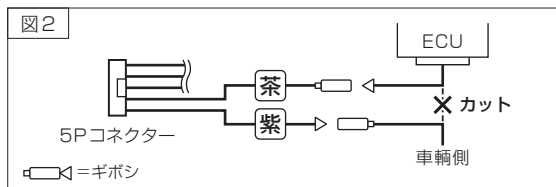
基本配線

1 電源、車速信号、アイドリングストップ信号を接続する。

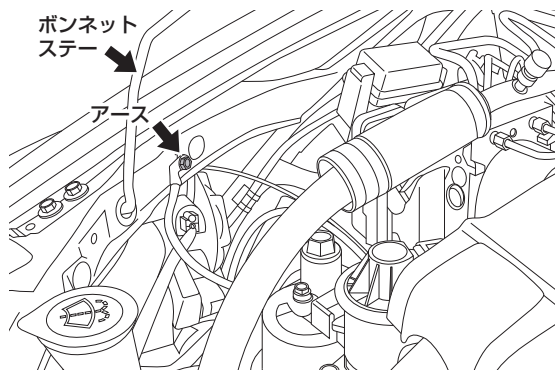
※ECUの位置は、エンジンルームバッテリー後方です。

① バッテリーの ⊖ 端子を外す。

② 付属のカットギボシを使用し、図１の電源配線に赤コードを接続する。

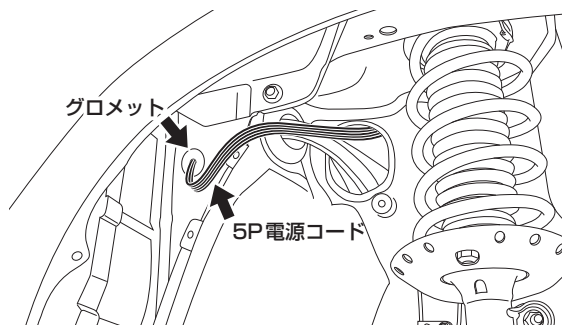
③ ②と同様の手順で、車速信号配線に白コードを接続する。

④ 図１のアイドリングストップ信号配線をカットする。

⑤ 付属のギボシを使用して、紫コードと茶コードを接続する。（図２参照）

2 アースを接続する。

① ボンネットステー後方の純正アースポイントに、黒コードのクワ型端子を共締めする。

3 コードを室内に引き込む。

① 右フロントインナーフェンダを外す。

② 下図のグロメットから5Pコネクターを室内に引き込む。

③ グロメット部のシールと5P電源コードを固定し、インナーフェンダを戻す。

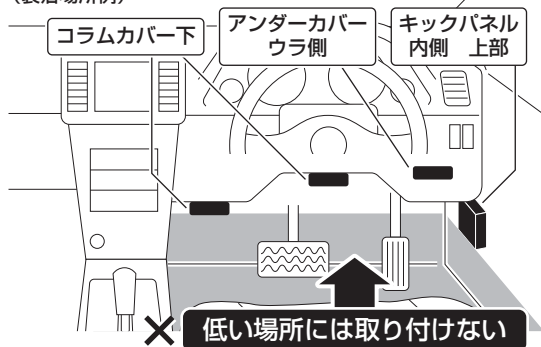
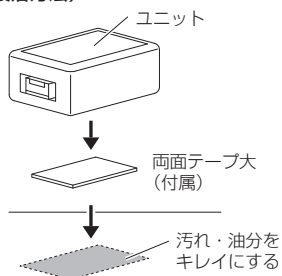
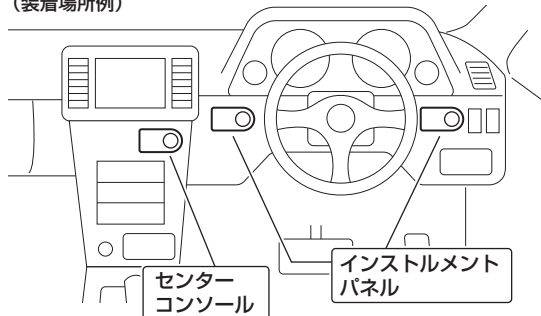
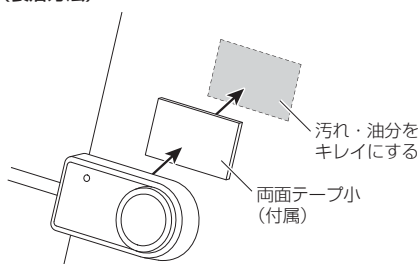
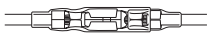
●防水のため、グロメット部にはシールをしてください。また、挟み込みなどを防止するために、5P電源コードは固定してください。

4 ユニットに各コネクターを接続する。

① コントローラーからの4Pコネクターと、エンジンルームから引き込んだ5Pコネクターを、ユニットの差し込み口にそれぞれ接続する。

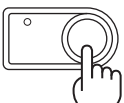
製品の固定

⚠ **配線はテープなどで収納してください。** 使用中に各配線が絡まると運転操作に支障をきたします。また、コードが挟み込まれると、ショートなどの原因となり、大変危険です。

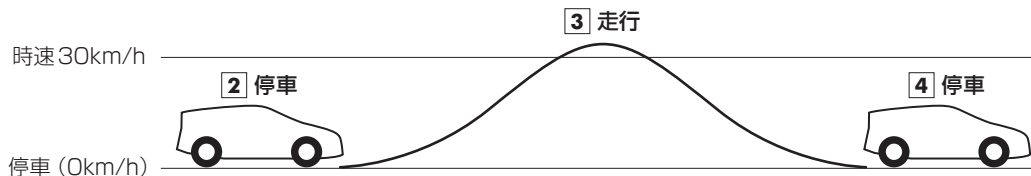
●ユニットの取り付け 下図のような、水がかからない場所に両面テープで固定してください。

●コントローラーの取り付け 操作しやすい場所に、両面テープで固定してください。

① 付属の両面テープで、ユニットとコントローラーをそれぞれ固定する。

② 運転の支障にならないように、余ったケーブルを束ねる。

③ 取付の際に外したものをすべて元に戻し、バッテリーの ⊖ 端子を接続する。

【参考 1】ギボシの使い方（※図はオスギボシの例です）

【参考 2】カットギボシの使い方

操作方法

設定は、下記の手順2～4完了後、有効になります。

LED表示の種類

LED	設　定
● 点灯	アイドリングストップをキャンセル
○ 消灯	ノーマル

❗ ノーマル（動作設定状態後）のアイドリングストップ条件は、車輌の条件と一致します。

故障かな？と思ったら

症　状	原　因	対　策
スイッチを押してもLEDが点灯しない。	赤、黒 コードの接続不良または接触不良。	再度ご確認ください。
アイドリングストップ機能をキャンセルしているのに、アイドリングストップしてしまう。	白 コードの接続不良または接触不良。	再度ご確認ください。
	紫、茶 コードの接続不良または接触不良。	
	速度が一度、30km/h以上になっていない。	確実に停車し、再度30km/h以上の速度で走行した後、動作の確認を行ってください。
	スイッチ操作を、走行中に行った。	
ノーマル状態（アイドリングストップ機能をキャンセルしていない状態）なのに、アイドリングストップしない。	車輌側のアイドリングストップ条件を満たしていない。	車輌の取扱説明書（アイドリングストップ条件）をお読みになり、ご確認ください。
	速度が一度、30km/h以上になっていない。	確実に停車し、再度30km/h以上の速度で走行した後、動作の確認を行ってください。
	スイッチ操作を、走行中に行った。	

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/